



僕と

叔母さんと

性生活

B:180
W:100
H:150

Mカワイイ →

基本CG13枚 差分込み164枚 総枚数265枚

早く大きくなりたい!

下校中の僕は落ち込んでいた

密かに憧れていた女の先輩に
こども扱いであしらわれたことを
思い出していたのだ

ずっとそうだと
背が低いせいなのか
これまでずっとこども扱いされてきた
もう僕は立派なオトナなのに！

生えるのが恥ずかしいと思っ
ていたはずのチン毛なんて
今では早く生えてほしいくらいだ

……いつまでも落ち込んでいられないか
切り替えよう
夕飯をたくさん食べて栄養を取ろう！

「あ、そうだ」

今日は母さんが宿直でいないんだ
夕飯を作らなければ

僕の母さんは看護師で、家をときどき空ける

父さんは単身赴任中でいないし、
少しでも僕が家事をして母さんに楽をさせなきゃ

あれ、母さんからメールが来てる

『今日から叔母さんがしばらくいてくれるから夕飯作らなくていいよ!』

叔母さん…?!

小さい頃に何度か会ったかなあ

あんまり覚えてないなあ

人見知りだからちよつと緊張するなあ

僕は不安に思いながら家に帰ることにした



おかえりなさい

いびき

いびき

た、ただいま：
お久しぶりです

叔母さん
綺麗な人
だったんだ
こんな綺麗

ん
ん
ん

ん
ん
ん

おっぱいとお尻
デカすぎ…



久しぶり
ゆうくん
大きくなったねえ

前に会ったときは
あんなに小さかったのねえ

叔母さんは目を細めた。

昔に比べたら大きくなるのは当たり前だけど、
僕は嬉しくなった。



お母さんから
もう話は聞いてる？

ちよつと訳あって
少しの間
居させてもらうわ

よろしくね

よ、よろしく
おねがいします

い
ま
ま

い
ま
ま





あゝ…

い
ま
い

ところで、
訳って聞いても
大丈夫ですか？

い
ま
い



実は、
離婚するの

ちよつと夫と
上手く行かなくてね…

そうなんです
ね…

い
い
い

い
い
い

それは大変でしたね…

ありがとう

でも、大変なのはもう終わったから大丈夫よ

それに、新しい家を見つけたら出ていくから

いびき

いびき



さあ、
それじゃあ夕飯食べましょう！


私が作ったのよ！
今、運んでくるわね

叔母さんは手をぼんと叩いて言った。

んま

んま





叔母さん、明るく振る舞ってたけど大変だったんだろうな。
楽しく過ごして叔母さんの気が楽になればいいなあ。

さっきまで抱いていた緊張はいつのまにか解けていた。

そして、僕は見てしまった。





大きなお尻が歩いたたびに
左右に揺れる

不意に股間が熱くなり、勃起しそうになる
僕は勃起を抑えるので精一杯で、
身動きが取れなくなってしまうた

お尻揺る


お尻揺る



どうかした？

いいえ、なんでもありません！

？
そう？



やばい
このエロさに耐えるのか…

僕はこれからの生活が心配になってしまった

ふう、食べすぎてしまった……

叔母さんを見ることができなくて
夢中で食べてごまかしてしまった……

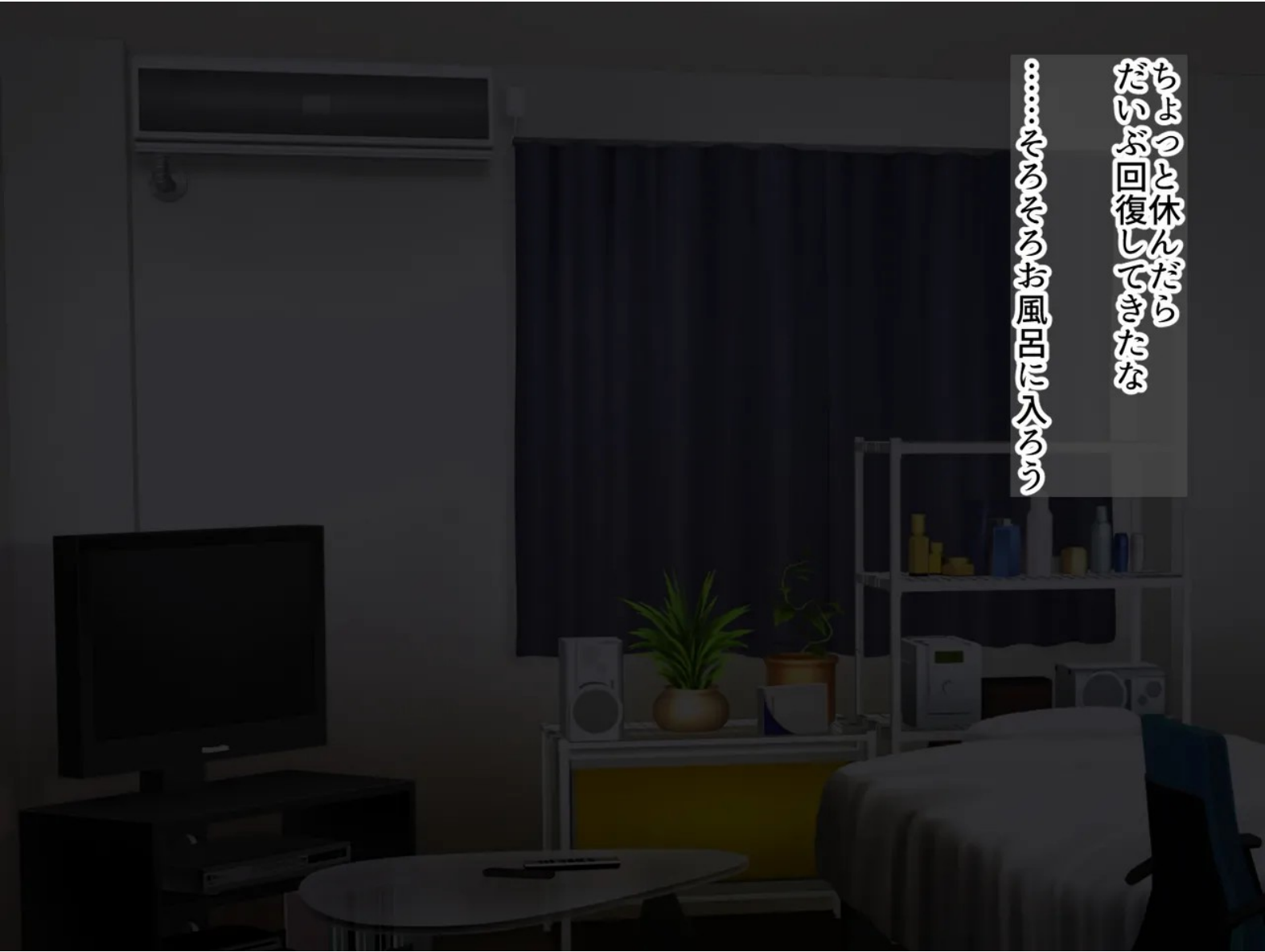
美味しく食べてるように見えたのか、
叔母さんは喜んでくれてたっぽいからいいんだけど
実際美味しかったし

ちよつと休もう……

○○○○

ちよつと休んだら
だいぶ回復してきたな

……そろそろお風呂に入ろう





脱衣所には叔母さんがいた
あまりの驚きで僕は呆気にとられてしまった

叔母さんの豊満な身体が汗ばんでいる
むわっとした熱気と、
石鹸の良い香りが
叔母さんから漂ってくる



大きな乳首の先端から滴が垂れた

いよ

いよ

ごめんなさい

いぢぢ



いぢぢ

数秒経ってから僕はハツとして
謝りながら目をつぶって顔をそらした



やってしまった……

入るときに確認しろよ……

それに、なにちよつと見とれてるんだよ……

反省とは裏腹に、
さつきの叔母さんの裸が
目に焼き付いて離れない…

どきどき

どきどき
どきどき



(うわ、やばい……)

耐えきれず、
僕は完全に勃起してしまった

どきどき

どきどき
どきどき





えつと……
私も鍵をかければよかったわね

こちらこそ
ごめんなさい

あれ、怒ってない……？

いよ

いよ

ふふ
見苦しい身体見せちゃった
目に毒よね

そんなことないです!

叔母さんは綺麗です!

思わず大きな声で僕は反論してしまった

ん
ん



うふふ
ありがとう

夫からは
久しく
褒められてないの

嬉しいわ

あれ...?
逆にお礼を言われてしまったぞ





あら？
ゆうくん、それ……
勃起してるのね

じゅわ

ん
ん
ん

ん
ん
ん

あ！
いや、これは
違って……！！

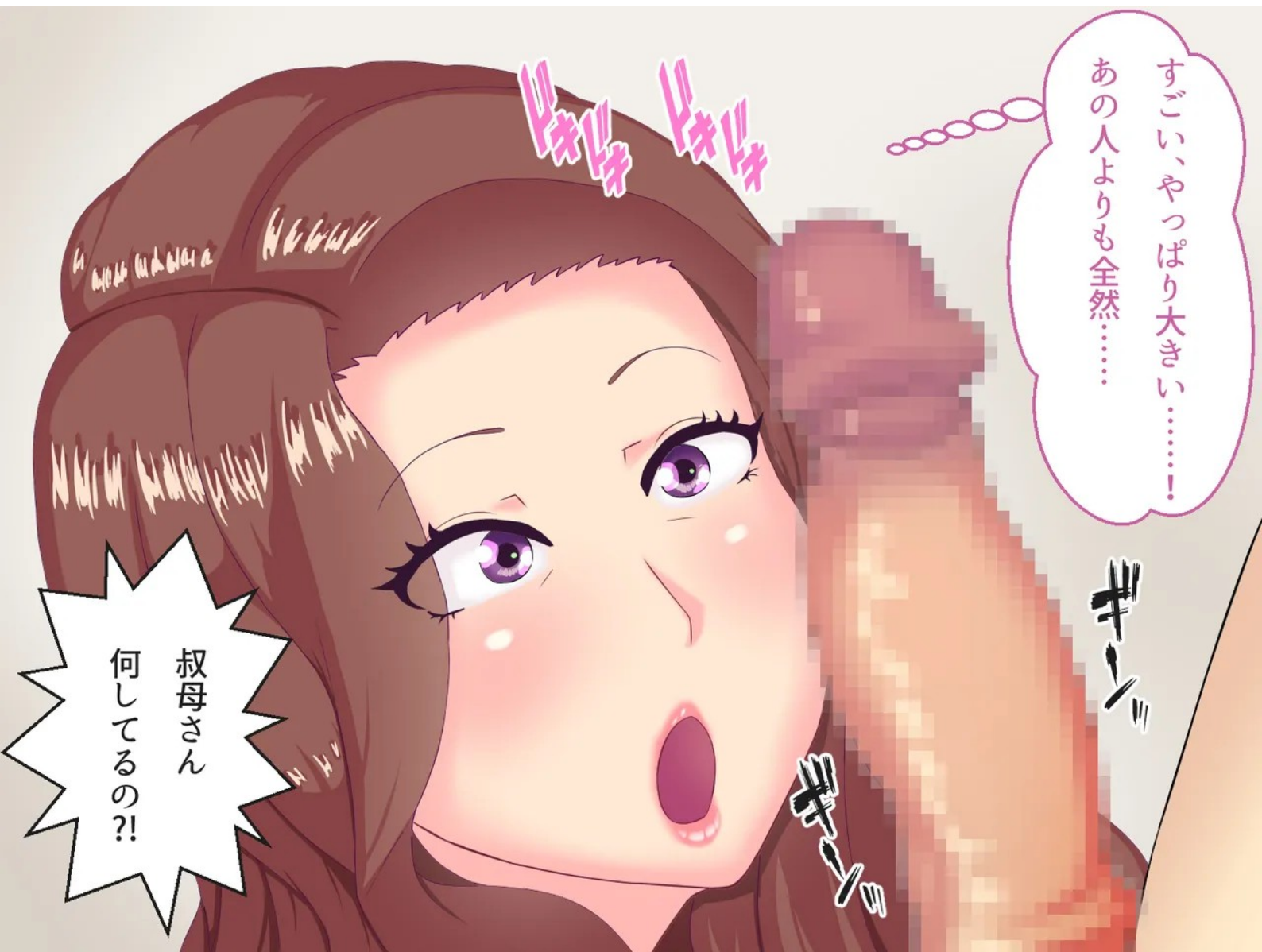
うふふ
いいのよ

さっきの言葉は
嘘じゃないってことよね
嬉しい

今
パンパンに張って苦しそう
楽にしてあげるわ

そう言って叔母さんは僕のファスナーを下ろした





すごい、やっぱり大きい……!
あの人よりも全然……

叔母さん
何してるの?!



なにして苦しそうだから……
こうして出してあげないと

ギョッ

すっごい……
男の匂い……
ゆうくん大人になったのね……

あの人よりも立派……

あの人、全然セックスしてくれないし
挙げ匂に不倫して……

ほー♡

ギョ

ゆうくん、
大きいのね

よく友達に
からかわれるんだ
恥ずかしい……

恥ずかしいことじゃないわ
とつても素敵なことよ
ほら……

ドキドキ

ドキドキ

ドキドキ

ドキドキ

ドキドキ



叔母さん!?!
き、汚いよ……!

ふふっ
汚くなんてないわ
とても美味しいわ

もぐもぐ♡

ああ……
ちんぽで口の中がいっぱい……
男の匂いで頭がクラクラする……



うああっ
すご...
気持ちいいっ

ドキッ
この気持ち久しぶり...
ドキドキする...

ニタッ
ポッ

ポッ
ポッ



ふふ
気持ちいいでしょ？

は、はい
すごい気持ちいいです
もう出ちやいそう……

いっくおおお……♡

我慢しないでいいのよ
このまま出しちやいなさい

えっ
でもこのままじゃ
叔母さんにかかっちゃう……



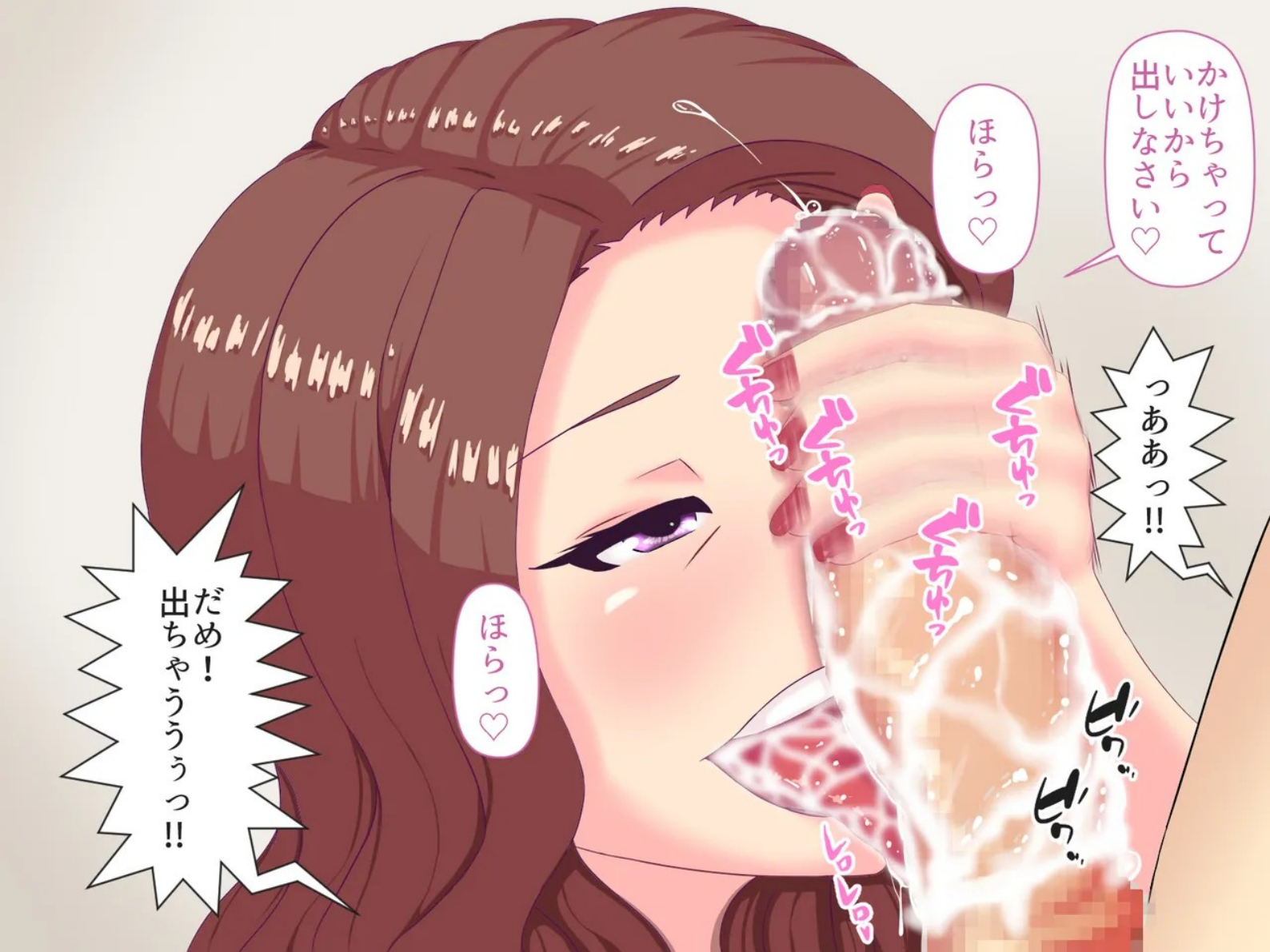
かけちゃって
いいから
出しなさい♡

ほらっ♡

っああっ!!

ほらっ♡

だめ!
出ちゃううう!!





ああ……
叔母さんにかけてしまった……

物*

うふふ……
たくさん精子出たね……

とっても濃厚♡



せっかくお風呂に入ったのに
また汚れちゃったわ♡

物*

あつ
ごごめんなさい……

いいのよ♡
ゆうくんも汚れちゃったね
洗ってあげる♡



出した後は
こうやって
丁寧に洗ってあげるのよ♡

む、むぐ…

おっぱいとふとももで
動けない……!!
息もしづらい……!!
でも、気持ちいい……

あつ、だめだ
また勃っちゃう……!!

ぽろぽろ
ぽろぽろ

あれ？
どうしてかしら？

また固くなってるじゃない♡

まったく……
悪い子にはおしおきね♡

んっ！

んんん





うっ！

2回目なのに
たくさん出るねえ♡

若いってすごいわあ♡

うっ！
うっ！

まだ出るのかしら？

むぐうー！！

もうっ
そんなに暴れちゃだめよ♡





ああ!
先っぽがくすぐったい!

目がチカチカする!

なんだこれ……!
ふわふわする……!

な、なんか出ちゃう……!!

ちゅちゅ
ちゅちゅ
ちゅちゅ
ちゅちゅ
ちゅちゅ



たくさん出たね
偉いわ♡

ぐったりしちゃって……♡
ちよつとやりすぎちゃったかしら？

うふふ♡
久しぶりのちんぽ……♡
大好き♡

その目の夜



まさかあんなことになるなんて……

夢を見ているみたいだ

フェラチオも大きなおっぱいに埋めたことも
初めてのことでとても気持ち良かった

うう
思い出すだけで、また勃ってしまいそうだ

ガチャリ



誰か入ってきた？

?



叔母さん!?

ゆうくん.....♡

身体の疼きが止まらないの.....♡♡
ゆうくんのちんぽが欲しいの.....♡♡

んんん

んんん



嬉しい♡

嫌じゃないです!

嫌かしら?

そ、それってセックス……??

んんん

んんん

んんん

あ、でも僕
どうしたら……

私がリードするわ
大丈夫よ♡

ゆうくんは
私に身を委ねて……♡



んんん♡

んんん♡

ほらあ
ゆうくん、これがセックスよ♡

これがセックス……
すごい気持ちいい！

叔母さんのあそこ
ヌルヌルで熱くてキツくて……あつ

ぬちゅ
ぬちゅ

あつ



あれえ？

もしかして、イツちやった？

ごめんなさい……
我慢できなくて……

うふふ
いいのよ♡
今日は安全なの♡

んんん





ゆうくん
まだ固いままだね♡

まだイけるでしょ？

ゆうくんのちんぽいいわあっ♡

じゅわんじゅわん

固くて大きくて
私気持ちいいところ
確実に突いてくるっ♡

オム

オム



ああっ
叔母さん気持ちよすぎる……！
もうイキそう……！！

もうちよつと頑張っつて♡
私もイキそうだからっ

一緒にイキましょう♡

あゝ
あゝ
あゝ
あゝ

あゝ

あゝ





気持ちよかったあ♡

イツちやったあ♡

今日のことは二人だけの秘密よ♡

そろそろ戻るわね
おやすみなさい♡

お、おやすみなさい……



叔母さんは僕の額にキスをして
寝室へ戻っていった

体力を使い果たした僕は
夢見心地のまま
眠りについた



翌朝……

どきまぎする僕とは違って
叔母さんは普通の態度で僕と接してきた

もしかして、昨夜の出来事は夢だったのだろうか
たしかに、普通に考えたらありえない

叔母さんをエロい目で見すぎたせいで生まれた僕の妄想？
そう考えると恥ずかしくなって、
僕も何事もなかったかのように接するようになった

それからというものの、
ことあるごとに叔母さんのエロい姿が頭に浮かんだ
そのたびに勃起して、悶々と過ごすようになった
母さんや叔母さんに悟られないよう生活するのは大変で、
妄想が止まらず、
オナニーを毎日してもムラムラはおさまらなかつた

数日後……
新しい家が見つかり、
叔母さんは出ていくことになった

ありがとう
ここまで送ってくれれば大丈夫よ

あ、いえ……

……





はいこれ

これなんですか?

私の連絡先と住所

え?!

いつでも来ていいから

だって…
溜まってるでしょ？

叔母さんが僕の耳元でささやいた
吐息が耳にかかり、ふわっと叔母さんのいい香りがした
思わず、僕は勃ってしまった



ほら
やつぱり溜まってるじゃない♡

いつでもいらっしやい♡
待ってるから♡

じゃあ、またね♡



叔母さんは帰っていった

僕は呆然としていた

叔母さんの家に行ける？

それに、溜まってるって？

頭の中でぐるぐると考えが巡った

しばらくすると、ふつふつと喜びが湧き上がってきた

叔母さんの家、行きたい！

早く休みになってほしい！

待望の休みが来た

母さんには友達と遊びに行くと嘘をついて、
はやる気持ちで叔母さんの家へ向かった

家へ着くと、叔母さんが玄関で出迎えてくれた



いらっしゃい♡

いっしょ♡

お、お邪魔します

叔母さん、ラフな格好だ……
肌の露出が多い……

いっしょ♡

休みになったら早速来たのね

い
ま
は

そんなに待ち遠しかったの？

い
ま
は

は、はい



正直ね
良いことよ♡

さあ
あがって

叔母さんは後ろを向いて廊下を歩いた
僕はどきどきしながら家にあがった
そして、また目にしてしまった

いっしょ♡

いっしょ♡

いっしょ♡



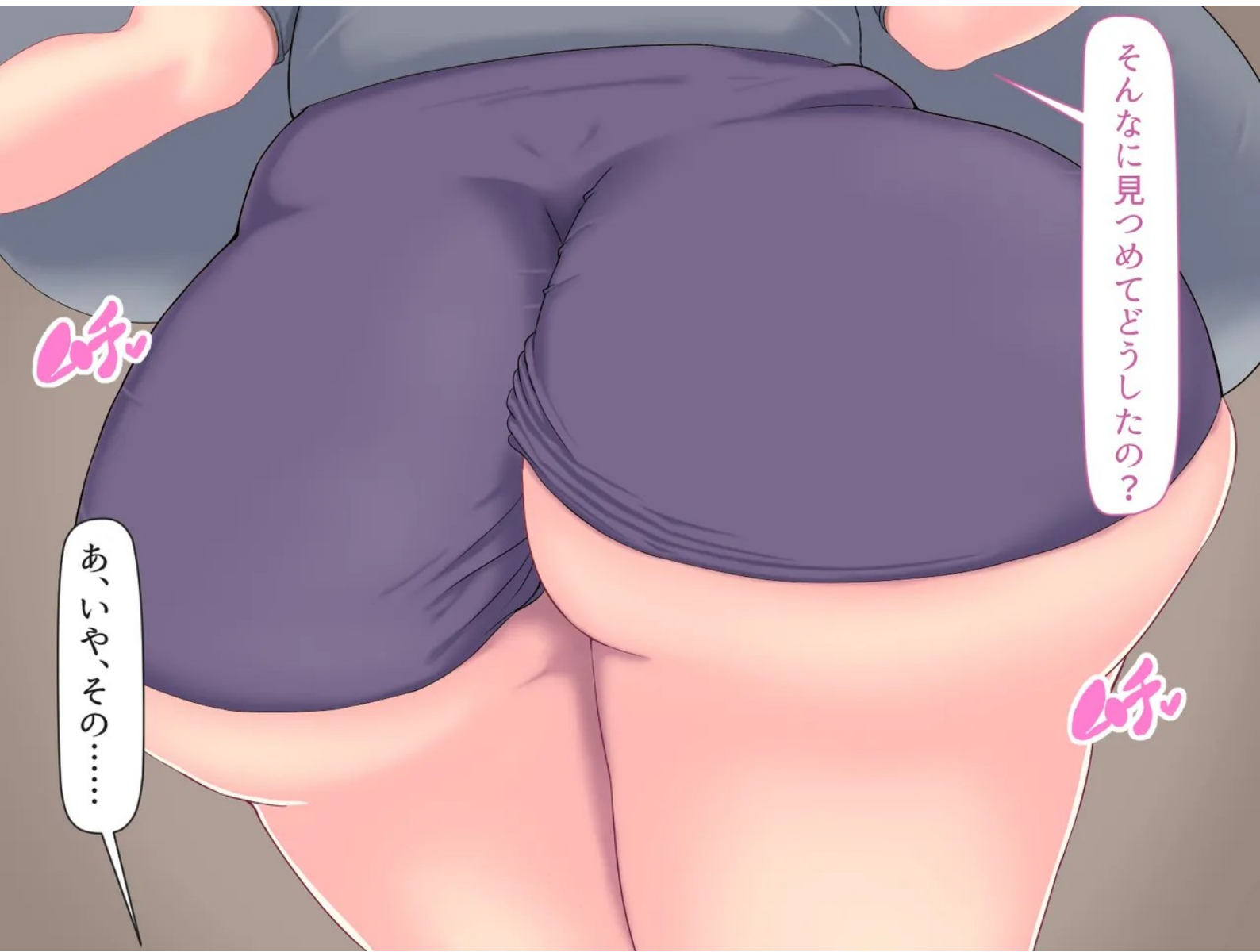
久しぶりに見る
叔母さんの大きなお尻

んん

んんん

んん





そんなに見つめてどうしたの？

あ、いや、その……

んっ

んっ



勃起してるわよ？

久しぶりで
興奮しちゃったんだ♡

あ♡

あ♡



好きにきいてもいいのよ？

あゝ

あゝ

あ……あ……



叔母さん！

もう！

がつつきすぎだよ♡

まぎゃんっ

ん

ん



おっぱいが
好きなのねが♡



好きなので
味わって
味わよ♡

おっぱい
柔らかい

柔らかくて
いい匂い……
くらくらする



そんなに好きならパイズリしてみる？

え、パイズリ!?
や、やってみたい……

うわあ……
すごい

うふふ
これがパイズリよ

気持ちいい？

柔らかくて
気持ちいいです



んぎゅ♡

んぎゅ♡

んぎゅ♡



うふふ
でもまだ
これからよ♡

えっ……

こうやって挟んで……

ふふ
ゆうくんのちんぽ
隠れて
見えなくなっちゃった♡

Www



うわあっ
おっぱいっ
扱われるっ
にっ！

これが
本当の
パイズリよ♡

パイズリ

パイズリ

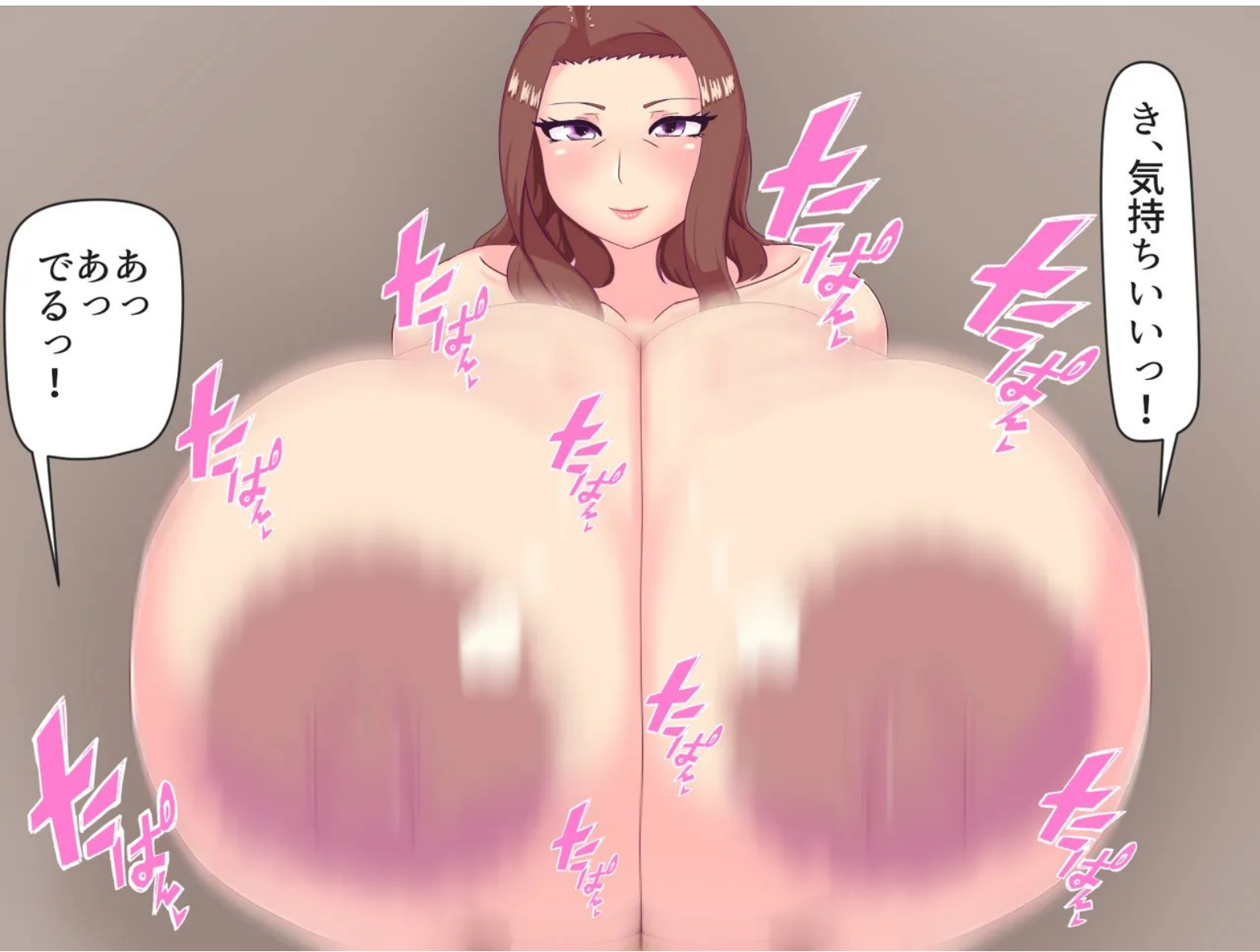
パイズリ

パイズリ

パイズリ

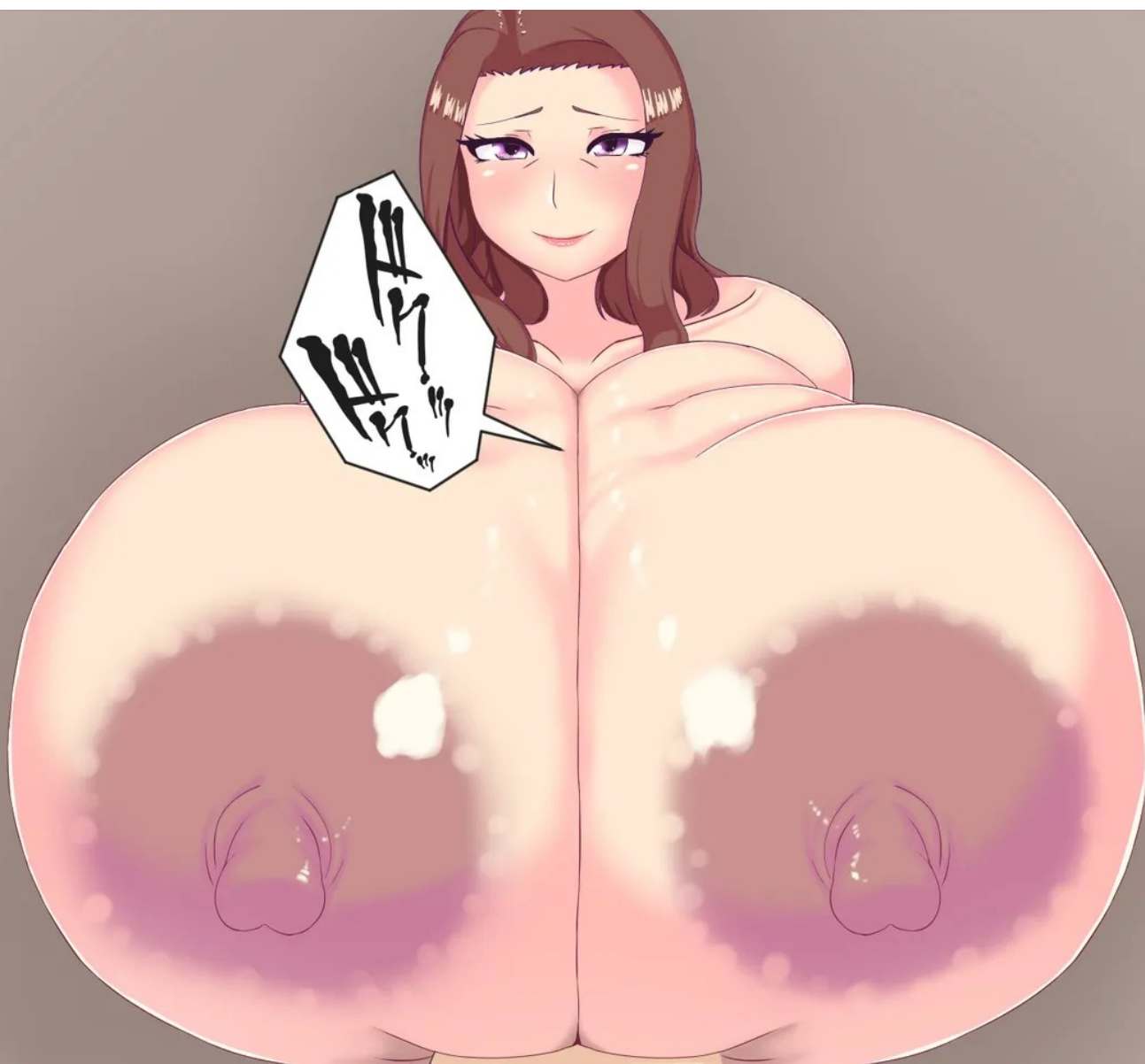
パイズリ





ああ
あつ
つ
であるっ！

き、気持ちいいっ！



もう♡
すぐイツちやつたね♡

すごおい♡
濃い精子がいっぱい♡

ドオオ..



せつかくご飯できてたのに…
汚れちゃったね

あ、そうだ

もうお風呂で来てるの
一緒に入りましょう♡

ドロオ..





もつとこつちに
寄っていいわよ♡

浴槽がせまくて
ごめんなさいね

ぎゅっ



叔母さん……
僕、ずっとこうしたかったです

ふふ
かわいい♡

ゆうくん
甘えん坊ね♡

グキッ♡

グキッ♡



叔母さんの身体が柔らかくて
気持ちいいから……

あれ？
またおつきくなってるね♡
なんでかなあ？

ムム
ムム



そっかあ♡
じゃあおさまるまで
こうしてる？

え、いや、その……

ドキッ

ん？
どうしたいのかな？
ちゃんと言わないとわからないわ♡



お、叔母さんの
アソコに入りたいです……

よく言えました
偉いね♡

入れて♡
ほら、ここよ♡

キキキ

キキキ



私のおまんこに
ゆうくんのちんぽ
を感じるわ♡

そう
ゆっくりね♡

お
〇〇〇

お
〇〇〇



ゆうくん
自分で動いてみて♡

全部入ったね♡
奥までパンパン♡

キキキ
キキキ♡



その調子♡

この調子ですか……？

ぬい

ぬい

ちゅ

ちゅ



ああん♡

激しいっ♡

気持ちいいわあ♡

叔母さんっ
僕…もうっ…

いいわっ
中に出してっ♡

バニヤバニヤ

バニヤバニヤ



ククククク

出るっ
ううう
ううう
う

ククク



ゆうくん
たくさん出たね♡

気持ちよかったねえ♡

はい……

そろそろ上がりましょ♡
のぼせちゃう♡



いや……
もう少し
こうしてていいですか？

あら、どうしたの？
いいわ、たくさん甘えてね♡



……
今日は泊まってくるの？

はい
母さんは宿直でいないから
大丈夫です

それじゃあ
いっぱいセックスできるね♡

そ、そのつもりで
今日は来ました

正直ね♡
かわいい♡

もう我慢できない……

叔母さん
入れていい？

△ぱあ

んん

んん

いいわよ♡
早くゆうくんのちんぽ頂戴♡





おほお♡

この体制だと
ちんぽが奥まで届く♡

おほお♡



あっ♡

だだめっ♡♡

奥は弱いっ♡♡
イググツツ♡♡

あッ♡
あッ♡
あッ♡



叔母さんのアソコが
一層キツくなつた！
僕もイキそうだ……！！

叔母さんも
気持ちよさそう……



ああっ♡

こ、これ以上早くなったらっ♡
ほんとにだめっ♡

イキっ
イキしぬうっ♡



おほおおおおおおっ♡

おおおおおおおっ♡

ううっ
いくうっ!

びんびん♡

んん♡

たっ♡
たっ♡

たっ♡
たっ♡





はあ

はあ

こんなにイッたの初めて♡

これじゃ
ゆうくんのちんぽ
じゃなきゃ
満足できなくな
っちゃう♡

惜...



まだ夜は長いわよ♡

いっぱいセックスしましょうね♡



こうして

夜通しで疲れ果てるまで
叔母さんとセックスした

それからというもの

休みの目があるたびに僕は叔母さんの家へ行き

叔母さんとセックスをしまくるようになった

僕は完全に叔母さんの豊満な身体の虜になっていた



おっぱいもお尻もお腹も
柔らかくて気持ちいい……

こんな身体が好きなんて
ゆうくんマニアツクね♡



ぶつといふとももで
挟んであげる♡

嬉しいでしょう？

ああっ
すごい！
柔らかい！
締まるっ！
のに



んん

んん

んん

いぎゅっ♡





一生懸命
腰振り
ちっちゃい
いのね♡♡

気持ちいいっ
腰をふるとお尻にあたって
気持ちいいっ!



ああっ
いくうっ!
!

ゴ
ゴ
ゴ
ゴ

すごい
いっぱい
気持ち
よかったね？♡

今度は私を気持ちよくさせて頂戴♡





ちんぽ欲しくて
おまんこ濡れちゃう♡

ちんぽ頂戴♡
早くう♡

うん
入れるよ……

うん……♡

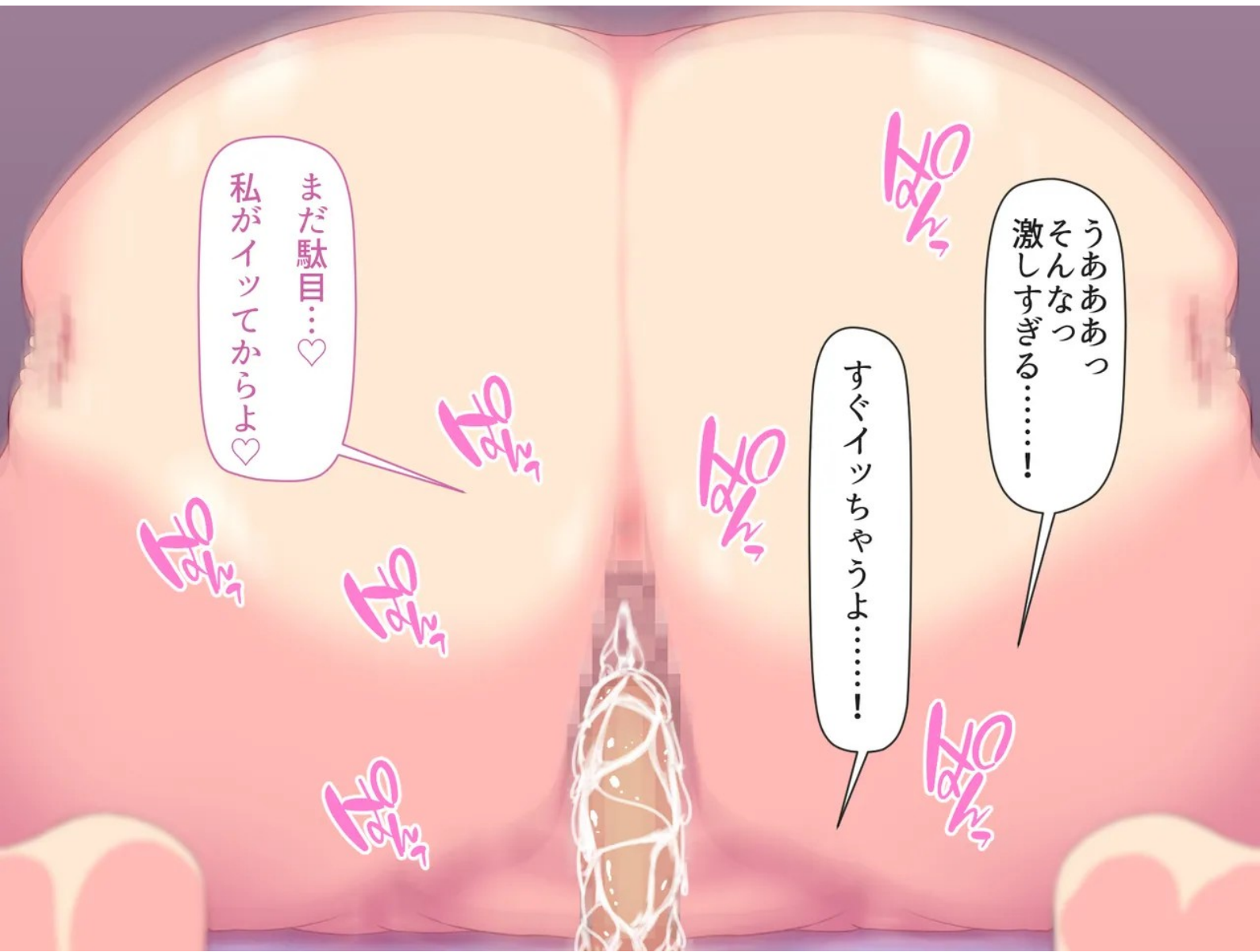


入ったあ♡

ああっ♡

いいわあ♡
気持ちいい♡

ズ
グ
グ



まだ駄目…♡
私がイッてからよ♡

うあああつ
そんなつ
激しすぎる……!!

すぐイッちゃうよ……!!

Ohh

Ohh

Ohh

Ohh

Ohh

Ohh

Ohh



奥まで響くっ♡

ああっ♡
イイっ♡

叔母さんっ…!!


だるめ♡

我慢よ♡

出そう…!!








叔母さんも僕も快楽に溺れていた
貪るようにお互いを求めた
何度も何度もセックスをした
ずっと叔母さんが忘れられず、
僕は叔母さんさえいてくれればいいと思った……



僕はある日

ひとつの決心をして、連絡をせずに
叔母さんの家に行った



ところが、チャイムを鳴らしても返事がない
あれ？

ドアノブに手をかけると、鍵がかかっていなかった
叔母さん不用心だな

大丈夫かな

僕は心配になって部屋に入った

すると、寝室からかすかに叔母さんの声がした

叔母さん………？

僕は寝室へ向かい、部屋を覗いた



おおっ♡
気持ちいい♡

イクっ♡
イクっ♡

ゆうくんの
ちんぽでイツちやうのお♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡
ほっ♡

うわあ……

叔母さんオナニーしてる……

僕の名前呼びながら
あんなに激しく……



は ん
あ つ

切ないわあ……

ゆうくんの本物のちんぽが
早く欲しいな

ゆうくん、早く来てくれないかなあ

ぬみ♡



叔母さん！

ゆうくん!?
なんでここに!?

断りもなく来てごめんなさい！

でも、今の言葉聞いたら
黙って見てらんなくて……





え……

じゃあ

私のオナニー見られてたの……？

……はい

聞きました

僕の名前を呼んでるところも

ピキピキ
ピキピキ

!!

恥ずかしい……!!

ゆうくんがいけないのよ

ゆうくんのちんぽが
おまんこが疼いて止まらないの

ゆうくんじゃないと
満足できない身体になったのよ





欲しい？

本物だよ

ピキピキ
ピキピキ

叔母さん……



いじわるしないでよ……

ピキピキ
ピキピキ

ゆうくんのちんぽ
早くおまんこに
ぶちこんで!

ピキ

ピキ



本物は違うわあっ♡

ああんっ♡
きたああっ♡
♡

げんげん

げんげん

おほおほ♡





もうイツちやったの？
僕まだイツてないのにつ

んっ……

♡♡♡♡
♡♡♡♡

♡♡♡♡
♡♡♡♡



だめっ♡

イツてるから♡

とまってっ♡

イツてるからあ♡

おん

おん

おん

おん

おん

おん



とまってって
言ってるのいい♡

またいくっ♡

いきしぬうっ♡

Noh
Noh
Noh
Noh
Noh
Noh

Noh
Noh



僕もそろそろイクよっ！

出すよっ！

hon

hon

hon

hon

hon

hon

hon
hon





はあ、はあ♡

はあ、はあ

たーん...



……叔母さん

なに？

叔母さん
好きです

もっと僕が
大人になったら……
結婚してください！

どうしたの急に？

だから今夜は……

いっぱい
愛します！


おほおほ





そんな求め方したら
断れる訳ないじゃない♡

ずるいっ♡



僕の告白を叔母さんは受けいれてくれた
お互いに吹っ切れたのか、
僕と叔母さんは夜遅くまで
激しくセックスした……





おはよう
ございます

おはよう♡

あゝ

あゝ





叔母さん

なに？
なに？

昨日言ったの
僕本気ですから

そう……

……



ありがたい♡
うれしい♡

大人になるまで
待ってるわ♡

はい
立派な大人になります

ふふ♡
頼もしい♡



こつちももつと立派になつてね♡

えっ……ちよっ……

立派な大人になるんでしょ？
がんばって耐えなきゃ♡

ふんふん



うっ

もうイツちやった？

ふふふ
大人になるにはまだまだかかきそうね

……気長に待ってるわ
未来の旦那様♡



終























